

大規模木造建築の設計・施工の実際

これまでの実例から考える今後の課題

2010年に「公共建築物等における木材利用の促進に関する法律」が施行され、大規模木造建築を普及する機運が高まっています。大規模木造を実現するための各種技術開発も進み、既にいくつかの大規模・中層建築物が実現しています。本シンポジウムでは、4名の実力者に大規模木造をとりまく現状を解説いただき、今後、さらに木造建築が普及するための課題を考えます。

講師

五十田博氏（京都大学）

腰原幹雄氏（東京大学）

福本晃治氏（竹中工務店）

安井昇氏（桜設計集団）

【日時】2014年1月10日（金）

【会場】京都大学 おうばくプラザ きはだホール

【参加費】無料

【懇親会参加費】5000円

【プログラム】

12:30-13:00 開場・受付

13:00-13:10 主旨説明

13:10-14:00 ふたつの大型木造建築（腰原幹雄）

14:00-14:50 大規模木造の構造（五十田博）

14:50-15:00 休憩

15:00-15:50 大規模木造の防火（安井昇）

15:50-16:40 新たな都市型木造建築の実現（福本晃治）

16:40-16:50 休憩

16:50-17:50 ディスカッション

18:00-20:00 懇親会

【申込み方法】

資料準備の都合上、事前申込みをお願いします。氏名、所属、連絡先、懇親会の出欠予定をご記入の上、下記宛にお申込みください。件名は「生存圏シンポジウム参加希望」としてください。懇親会ご出席の場合は2013年12月27日（金）までに、懇親会ご欠席の場合は2014年1月6日（月）までにお申込み下さい。

ishiyama@isc.chubu.ac.jp（中部大学 石山宛）